柴田町立西住小学校　自ら考える子ども　思いやりのある子ども　たくましい子ども

にしずみ

令和３年３月１９日発行（在校生配布令和３年３月２３日）

保護者の皆様、地域の皆様の温かい眼差しに包まれ、西住小学校第３８回卒業生１７人の子供たちは志をもち、新たな一歩を踏み出すことができます。深く感謝申し上げます。本日の卒業式では、卒業生がこれからの座右の銘として選んだ１７の言葉を入れたはなむけの言葉を準備いたしました。子供たち一人一人の志が実現することを、教職員一同祈っております。

第３８回　卒業式　はなむけの言葉

校長　佐々木　美奈子

１７人の卒業生の皆さん。まさに**拳々服膺**、６年間の学びを心にとめ、卒業証書を受け取ったことと思います。その姿は、四月に初めて会ったときよりも凜としていて、たくましさを感じました。その姿から、**不撓不屈**、**百折不撓**、**磨杵作針**、**心堅石穿**、どんなことも乗り越えて、夢や目標を成し遂げようとする強い意志が感じられました。西住小学校で学んだ皆さんですから、**初志貫徹**、今日の志を忘れずに、**一意専心**、目標を見失うことなく進んでいくことができることでしょう。

皆さんがこれから歩む道には、時に**迅速果敢**に物事を判断しなければならない局面、時に**思慮分別**、注意深く考えを巡らせる局面、時に悩みながら**試行錯誤**して進む局面があるでしょう。そういった時、判断する基準となるのは、ご家族の教え、西住小学校での学び、地域の風土、そしてこれから進む中学校での学びです。是非、**韋編三絶**、熱心に学び、**博覧強記**、広く物事を知って視野を広げてください。友と一緒に部活動で汗を流し、喜びや悔しさを味わう中で、**正々堂々**と生きることの大切さを学んでください。日々の生活の中で笑い合ったり意見を述べあったりしながら、**誠心誠意**、真心を込めて相手に接する尊さを学んでください。**有言実行**、今日、皆さんが言った言葉を行動で示してくれることを楽しみにしています。

一方で、多感な時期にさしかかった皆さんを送り出すに当たり、心配なこともあります。それは、自分と友達とを比較して、先に進んでいる友達を輝いている、うらやましい、ねたましいと思い、皆さんが自分のよさを見失ってしまうことです。そんな時は、**豪放磊落**、気持ちを大きくもって深呼吸し、私の贈るこの言葉「自分の歩幅で自分の道を」を思い出してください。人生は速さを競うレースではありません。自分の歩幅で自分の道を一歩一歩歩んでいく、長い、長いレースです。つまずいても転んでも、もう一度歩き出せます。選んだ道が行き止まりだったら別な道を探せばいいのです。**時が物事を変えるのを待つのではなく、自分で変えていけばよい**のです。目標に向かって歩み続けている限り、皆さん一人一人の一生懸命な姿は常に輝いています。

そして、忘れないでください。後ろにいるご家族は、皆さんが自分の足でしっかりと歩めるように小さい頃から厳しく、そして温かく育ててくださいました。横にいる船迫教育長、西住小学校の教職員は、あなた方の歩幅を理解して一人一人の力を引き出してきました。六年間、毎朝、登校を見守ってくださった西住地区の方々は、皆さんが安心して歩み続けることができるよう、この先もずっと見守ってくださいます。

忘れないでください。自分のよさ、進むべき道を見失いそうになった時、家族の教え、西住小学校での学び、地域の風土が皆さん一人一人を輝かせ再び歩み始める元気と勇気を与えてくれます。

この西住みで育った卒業生の皆さん一人一人が、自分の歩幅で自分の道を歩んでいくことを願っています。

※ 太字の言葉は、１７人の子供たちが座右の銘として選んだ言葉です。